

## 奥久慈・モミジ山行 2選

T野

- ◆日程：2025年11月29日～30日
- ◆山域：奥久慈
- ◆メンバー：名（T野・H口y・A原・S口・H口m・M下）
- ◆形態：ハイキング
- ◆ルート：11/29 生瀬富士～月居山  
11/30 武生神社～明山～中武生山周遊

先週に続いて、2週連チャンで奥久慈のモミジ狩りである。この季節の奥久慈に魅せられてすでに10年以上経つが、毎年この季節になると、飽きることなく訪れている。

もちろんモミジ狩りがメインであることは間違いないが、奥久慈の山の魅力はモミジだけではない。ルートも多彩で変化に富み、一筋縄ではいかないルートも多く、訪れるたびに驚きと感動と新たな発見が味わえる。さらに、この時期の奥久慈はリンゴの収穫期で、毎年訪れている豊田リンゴ園では、朝採れの新鮮で美味しいリンゴをゲットでき、その場で焼き立てホクホクのアップルパイを味わえ、色々な種類のリンゴの試食もできるのでこれも楽しみの一つだ。

若いころは「アルパイン」、今は「アップルパイ」、字面はちょっと似ているが、もちろん全くの別物である。（年相応にちょっとボケてみました。）

宿泊に関してはA原さんが見つけてくれた常陸大宮にある花立自然公園のログキャビンを今回初めて利用することにする。布団付で暖かく格安、天文台があってボランティアの方が星についていろいろ解説してくれるそうでこれもまた楽しみだ。

先週、かなりいい感じに色づいていたので、今週はどうなのか気がかりであったが、ここ数日の記録をヤマップで確認すると、まだまだ見頃のようで一安心。予報も申し分なく楽しみである。

ということで報告です。

### 11/29 生瀬富士～月居山



#### ■写真 駐車場を出発！！

今日はA原さんチョイスのこのルート。奥久慈特有のアップダウンの激しいジエットコースターのようなルートだ。山頂近くに「茨城のジャンダルム」と呼ぶ岩峰があり、すっきりした岩稜を辿って、その頂に立てるのも魅力である。さらに、名瀑「袋田の滝」を真上から俯瞰できるのもこのルートの良いところだ。そして、最後に絢爛豪華な月居山のモミジの森で



全身がモミジ色に染まるという、実に変化に富んだ名ルートで、奥久慈エントリーにはもってこいである。

29日早朝、T野車とH口車に分かれてそれぞれ出発。まず、全員が寝坊することなく集まれるかどうかが最初の核心である。今回は無事全員が揃いますは一安心。

友部SAで合流して一路、奥久慈に向かう。それにしても奥久慈は近い。僕の家からだと約2時間、丹沢や奥多摩よりはるかに行きやすい。今回も6時に南流山駅を出発して、途中で朝食を食べたり買出ししたりしても8:35には登山口近くの無料駐車場（袋田滝本町営第2駐車場）を歩きだすことができた。

しばらく街中を歩き、登山道に入ると沢沿いの杉林を緩々と登って行く。この辺りは何の変哲もない里山だが、尾根に乗ると生瀬富士は本性を見せ始める。周りの樹々は広葉樹となり、所々に見事に色づいたモミジ林があちこちに散見できて早くも歓声が上がる。



■写真上 生瀬富士山頂直下の急峻な登り。

■写真中 「茨城のジャンダルム」に続く岩稜！！

■写真下 「茨城のジャンダルム」のピーク！！



いつしかルートは急峻になりクサリやロープが固定された岩場を登って行き、出発して45分程で生瀬富士の狭い山頂に着く。のんびり休憩できるような所ではないので、そのまま岩稜を辿って「茨城のジャンダルム」に向かう。この岩稜は実に気持ちが良い！！周りの景色も素晴らしい、奥久慈の山々はもちろん、奥日光や那須の山々も望める。ただ、それよりも高度感が素晴らしい！！そして、絵になる写真が採れる！！高いところが苦手な人にはお勧めしないが、そうでなければビギナーでも岩山の楽しさを手軽に味わえるところだ。

いつしかルートは急峻になりクサリやロープが固定された岩場を登って行き、出発して45分程で生瀬富士の狭い山頂に着く。のんびり休憩できるような所ではないので、そのまま岩稜を辿って「茨城のジャンダルム」に向かう。この岩稜は実に気持ちが良い！！周りの景色も素晴らしい、奥久慈の山々はもちろん、奥日光や那須の山々も望める。ただ、それよりも高度感が素晴らしい！！そして、絵になる写真が採れる！！高いところが苦手な人にはお勧めしないが、そうでなければビギナーでも岩山の楽しさを手軽に味わえるところだ。



ただ、実は、このジャンダルムより、一見地味だがこれから辿る縦走路の方が、危険がいっぱいである。転倒イコール滑落となる急なアップダウンが続き、落ち葉で滑りやすいし、疲れてくるとつい緊張感が途切れ、足の踏ん張りもきかなくなるので要注意だ。

こういう場所はチェーンスパイクがあると重宝するし、できればヘルメットも持参したいところだ。生瀬富士は「富士」というより、「ミニ妙義」という感じの厳つい山容である。でも、それが楽しいのだ。今回のメンバーも皆、この縦走路のジェットコースターを楽しんでいる。そして、たいてい降り切ったところには見事に色づいたモミジ林が錦秋の世界を創り、我々はそのたびに歓声を上げるのである。

立神山を過ぎ、さらにいくつものアップダウンを繰り返していくと、真下に袋田の滝を見下ろす場所に出る。柵も何もないで恐る恐る下を覗きこめば、そこ

は 300mの絶壁である。あまりの高度感に思わず尻の穴がむず痒くなるようなところだ。

■写真上 高度感抜群！！

■写真中 至る所にモミジ林があり目を奪われる。

■写真下 上から俯瞰した袋田の滝。水量が少ないので少し残念だ。

ここからは意外と普通の登山道になって降りていくと袋田の滝の上流の川に降り立つ。そして、再び月居山への登山が始ま



る。一度降りてしまうと、もう下山したような気になってしまうので、もう一度「登り」に気持ちを持つていくのがなかなか大変だ。

ただ、僕は月居山の絢爛豪華な錦秋の世界を知っているので、下山モードのメンバーの気持ちを奮い立たせて出発する。歩くこと 45 分、僕たちは全身がモミジ色に染まっていた。有終の美を飾るにふさわしいエンディングである。創られた庭ではない自然のモミジ林でこれほど見事な紅葉を見られるのは奥久慈のことあそこと・・・要は、奥久慈以外では僕は知らない。

毎年飽きもせずに奥久慈通いをするのは、こういう景色に出合えるからだ。さて、下山は 30 分ほどだが、その道すがらでも、赤や黄色の素晴らしい紅葉を楽しむことができた。

下山後、まずはリンゴ農園（豊田リンゴ園）を訪れ、リンゴの試食と買い物、そして焼き立てのアップルパイを食す。非常に美味。続いて温泉は「三太の湯」。￥1000と少し値は張るが広くて気持ちの良い温泉だ。食事もここはまずまず美味しいので今回はここで一緒に済ます。

■写真上 袋田の滝上流で川を渡渉する。

■写真中 月居山は錦秋の世界！！

■写真下 見上げればモミジ！！

そして、一路、宿泊先の花立ログキャビンへ。ギリギリ星の

観察会にも間に合って、団子の串のように縦に刺さって見える土星の輪や、多くの星が形成するスバル（M45 散開星団）などを見ることができ、非常に有意義だった。キャビンも快適で、今後の奥久慈の常宿になりそうだ。いやいや、とにかく盛りだくさんな1日であった。

#### ◆コースタイム

袋田滝元町営駐車場（8:36）～（9:21）生瀬富士～茨城のジャンダルム（9:51）～生瀬富士（10:13）～（10:15）立神山（10:27）～（11:37）袋田の滝の上流の河原（11:38）～（12:21）月居山（13:04）～（13:45）袋田滝元町営駐車場

■写真上 水量が少ない穏やかな竜ヶ淵。

■写真中 三葉峠！！ここもモミジスポット！！

### 11/30 武生神社～明山～中武生山周遊



昨日のルートが奥久慈を代表するメジャールートなら、今日行くルートは、知る人ぞ知るいぶし銀ルートである。大子町観光協会のトレッキング地図にも乗っていない空白地帯を行く。まあ、そうはいっても、踏み跡はしっかりあるので心配ご無用！！奥久慈で最も山深い地にとっておきのモミジ林が人知れず眠っていて、そこを訪れるのが今回の目的だ。

実は去年、この地を訪れているのだが、紅葉には早すぎて本来の美しさを見ることができなかつた。今回はそのリベンジで計画した。折角なので、奥久慈の秘峰、明山（「みょうやま」と読むようだ）もセットにして、2年前に見つけた竜神峡中流部に眠る深紅のモミジ谷も絡めてルートを設定した。昨日同様、アップダウンの激しいジェットコースタールートで、さらに昨日より若干長く、地図で想像するよりタフなルートだ。でも、人と出会うこともまれな自分達だけの世界が楽しめる好ルートである。

ルートの起点は武生神社だ。



ここを 7:05 に出発。まずは竜神峠の亀ヶ淵に向けての激下りから始まる。標高差約 225m、結構下る。亀ヶ淵は水量が少なく、沢がほとんど干上がっていて難無く渡渉する。以前、8月にこの沢を遡行したことがある。初級向きの淵が多いのは良いのだが、まれにみるアブ地獄を経験し、アブに好かれた丁さんを病院送りにした沢である。今は水が音もなく静かに漂う穏やかな流れでいたって平和な世界である。



人が見える・・・かもしれない？もちろん、周辺の山や日光連山なども見渡せ、高萩の海の輝きも望むことができる。

景色を楽しんだら三葉峠まで戻り、しばらくはアップダウンの激しい縦走路を行く。降りたところはだいたいモミジ谷になっていて目を楽しませてくれるし、登ったところは岩峰になっていて、深く切れ込む竜神峠をはさんで、これから行く中武生山の稜線を望むことができる。気持ちの良い岩峰から少し歩いたところに竜神峠に降りる踏み跡（道標あ

ここから明山までは今まで下りた分プラスアルファの激登りが待っている。沢沿いに登って行くが若干ルートが分かれにくいところがあるので、慎重にルーファイして行こう。30分ほど登ると稜線に出る。ここが三葉峠で、奥久慈有数のモミジスポットである。大木も多く紅葉の素晴らしいに圧倒される。今日最初のビューポイントだ。

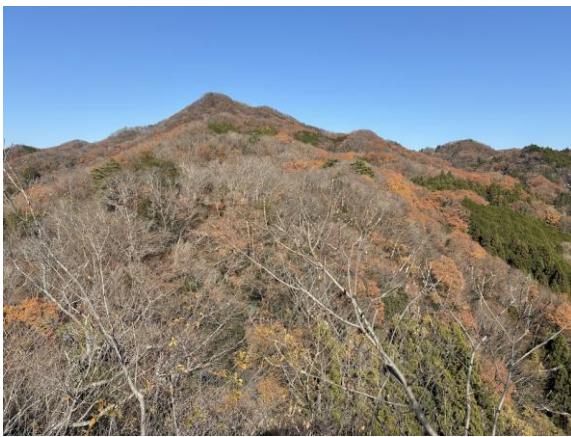
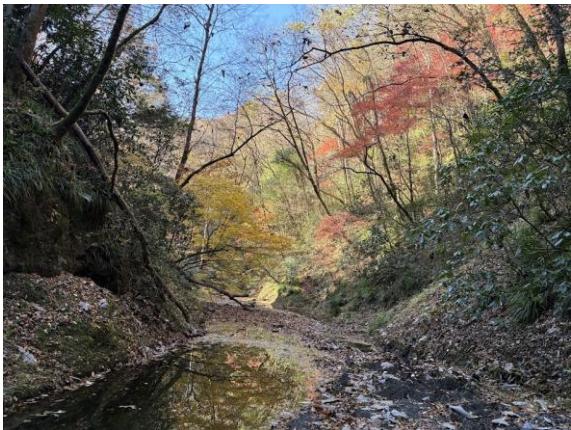
■写真上 明山山頂！！

■写真下 モミジの打ち上げ花火！！

ここから明山をピストンする。明山は標高わずか 457m、スカイツリーにさえ遠くおよばない低身長だが、その山容は彫も深く岩壁に囲まれ実にワイルドである。山頂までは鎖や固定ロープのある急峻なルートと、巻きながら歩ける穏やかなルートがあるが、通常、急峻なルートを登り穏やかなルートを降りる。山頂からは竜神大橋からバンジージャンプする

人が見える・・・かもしれない？もちろん、周辺の山や日光連山なども見渡せ、高萩の

海の輝きも望むことができる。



り) があり、ここを降りていくがここからは破線ルートだ。

降りるにつれ、素晴らしい錦秋の世界が広がってくる。2年前に見つけた宝物である！！立派な枝ぶりのモミジの木がたくさんあり、まるで京都の古刹を散歩しているようだ。今日2つ目のビューポイントである。

やがて、竜神峡中流部に降り立つ。休んでいると沢中の日陰はクーラーが効いているようヒヤッとして、慌てて防寒着を身に着ける。今日2回目の渡渉も難無くこなし、再び登りとなる。亀ヶ淵山との鞍部に出れば、中武生山に向かう縦走路となる。ここも奥久慈らしいアップダウンの激しい道で、登れば岩峰、降りればモミジ谷を繰り返す。素晴らしいモミジを昨日から散々眺め続けているので、皆、ちょっとやそっとでは驚かない体になってしまい、「もう、モミジはイイやあー」などという罰当たりなメンバーもひとり、ふたり・・・。「それより、このアップダウン、なんとかならんかね！！」と文句が多くなる。

■写真上 竜神峡中流部の渡渉点。

■写真中 中武生山が近づいてきた。

■写真下 中武生山直下の気分の良い森を登る！！

しかし、最後の最後、中武生山のピーク下の森があまりに素晴らしく、ちょっとやそとでは満足しない我々もここでは「ホホーいいね！！」を連発！！それでも気持ちの良い森である。グッチが「ここに

水を持ってきて泊まりたい！！」と言っていた。確かにここは歩いて通り過ぎるのではなく「泊まりたい！！」森である。逆コースを辿れば1時間とかからずに来られるので「中武生山の森、泊りツアーゼひ実現させたいものである。今日3つ目のビューポイントで



あった。

さて、中武生山は遠くから望むと大きな山容で目を引く存在だが、山頂自体は樹林に覆われ景色もなく何の変哲もない（道標すらない）ピークであった。ここからのんびり踏み跡を辿れば意外に早く車道と合流して、我々は夢の世界から現実に引き戻されるのであった。ここには「こんなところにポツンと一軒家」で紹介された人家があり、ここで何をしているのだろうと考えると興味が尽きない。



■写真上 中武生山直下の気分の良い森を登る！！

■写真下 帰りの車道でGメンごっこ！！

ここから車道歩き 40 分程で車をデポした武生神社に到着した。約 7 時間の山旅であったが、アップダウンが多いのでなかなか歩きがいのあるルートで、奥久慈の深さを味わうには最高のルートであった。

今日の温泉は「竜ちゃん乃湯」、料金は昨日の三太の湯と一緒に ¥1,000、でも、女性風呂には露天

天風呂がなく女性陣には不評でした。下山飯は常陸大宮のラーメン屋「がんこ一番」。ここは「うま煮麺」が美味しかった。

それにしても、話題と笑いが絶えない楽しい 2 日間でした。楽しいメンバーと僕の大好きな奥久慈を歩けたことに感謝します。また、面白そうなルートを見つけましたので、来年是非、一緒しましょう！！面白そうなルート、キーワードは「おかめ山と地割」です。では、来年のお楽しみです！！

#### ■コースタイム

武生神社 (7:05) ~ (7:35) 亀ヶ淵 (7:57) ~ (8:29) 三葉峠 (8:41) ~ (8:52) 明山 (9:07) ~ (9:12) 三葉峠 (9:27) ~ (10:28) 竜神峠渡渉点 (10:41) ~ (12:14) 444m 峰 (12:30) ~ (13:09) 中武生山 (13:22) ~ (13:35) 車道~ (14:13) 武生神社